

作業療法

作業療法とは、日常生活に必要な手の機能回復と「食事・整容・着替え・排泄・入浴」などの日常生活動作の回復を目指す治療法です。脳梗塞や脳出血により麻痺や高次脳機能障害が生じた患者様に対しては、手の機能訓練や装具療法、高次脳機能訓練、着替えや排泄などの日常生活動作訓練、その方の役割に合わせて家事動作訓練（調理・洗濯・掃除など）や復職訓練を行っています。復職に向けては、パソコン入力など仕事内容に近い作業活動をプログラムに取り入れ、実践的な訓練を行っています。

手の機能訓練



麻痺の改善目的に握ったり、つまむ練習を行います。

高次脳機能訓練



1人の患者様が、会を企画・運営しています。注意障害や記憶障害、遂行機能障害などに対し実践的な訓練も行います。

装具療法（スプリング）



自助具



麻痺が生じたり、関節が硬くなってしまい元の動作が出来なくなった時には、道具の使用を検討し、1つでも出来ることが増えるようにします。

調理動作訓練



呼吸器や循環器疾患の患者様に対しては、身体機能改善に加え、生活の中で呼吸苦が生じないように動作指導を行います。また、早い段階からリハビリテーションを実施することで、体力が低下することや病気の再発を防ぎ、早期の日常生活動作の獲得を図っています。

自宅退院に向けては、ご自宅の環境調整や福祉用具の使用を検討し、安心して生活がおくれるように提案します。また、その人らしい生活が再びおくれるように、入院中から趣味活動の再開や再獲得を図ること、また季節感のある活動や集団での作業活動を行うことで身体の機能の回復だけでなく精神機能の向上を図っています。

音楽活動



園芸活動



書き初め大会



その他にも、クリスマスツリー作りや豆まきなど、季節感のある作業活動を実施しています。